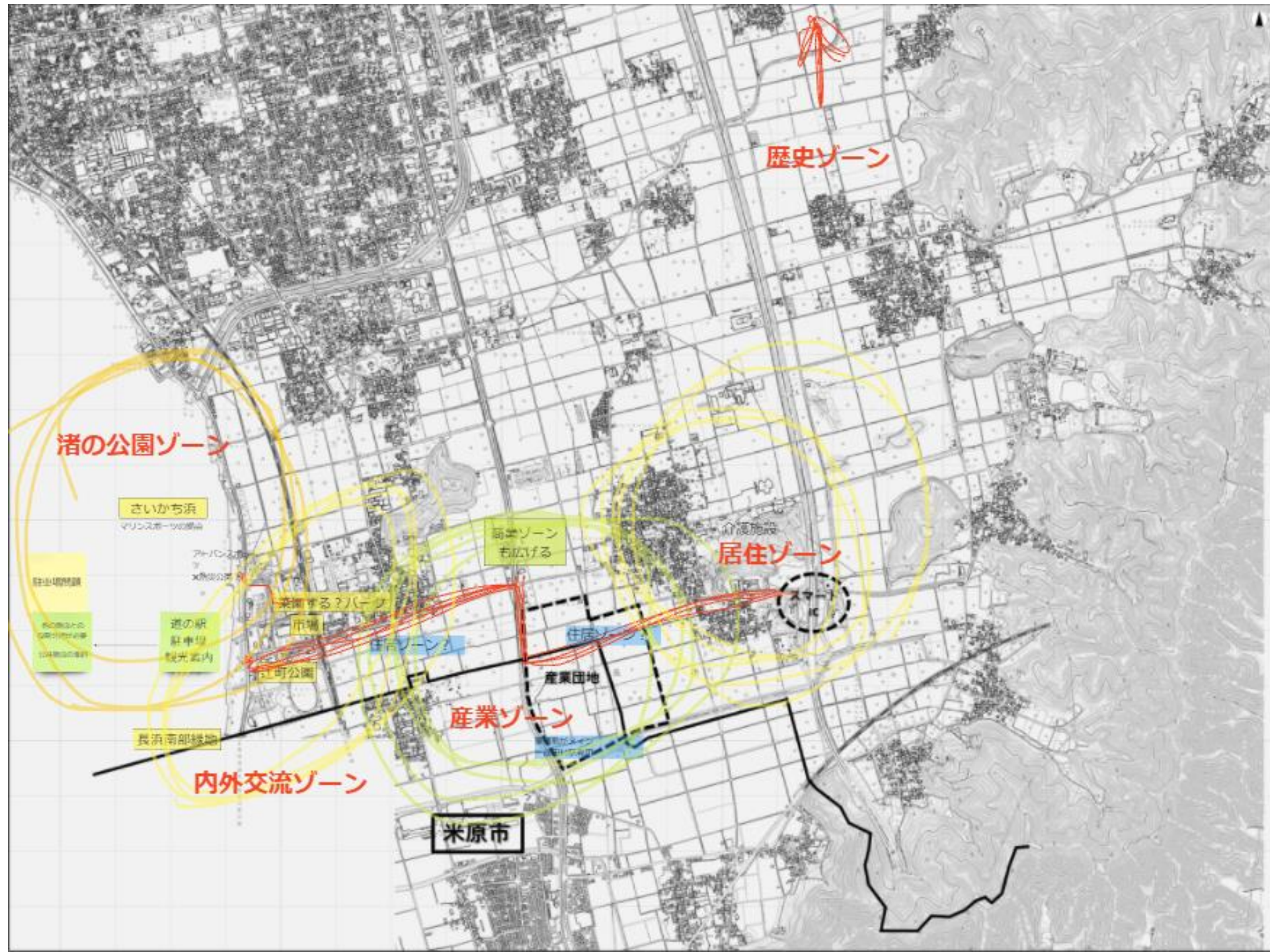


ゾーニング検討

ゲートウェイ部会

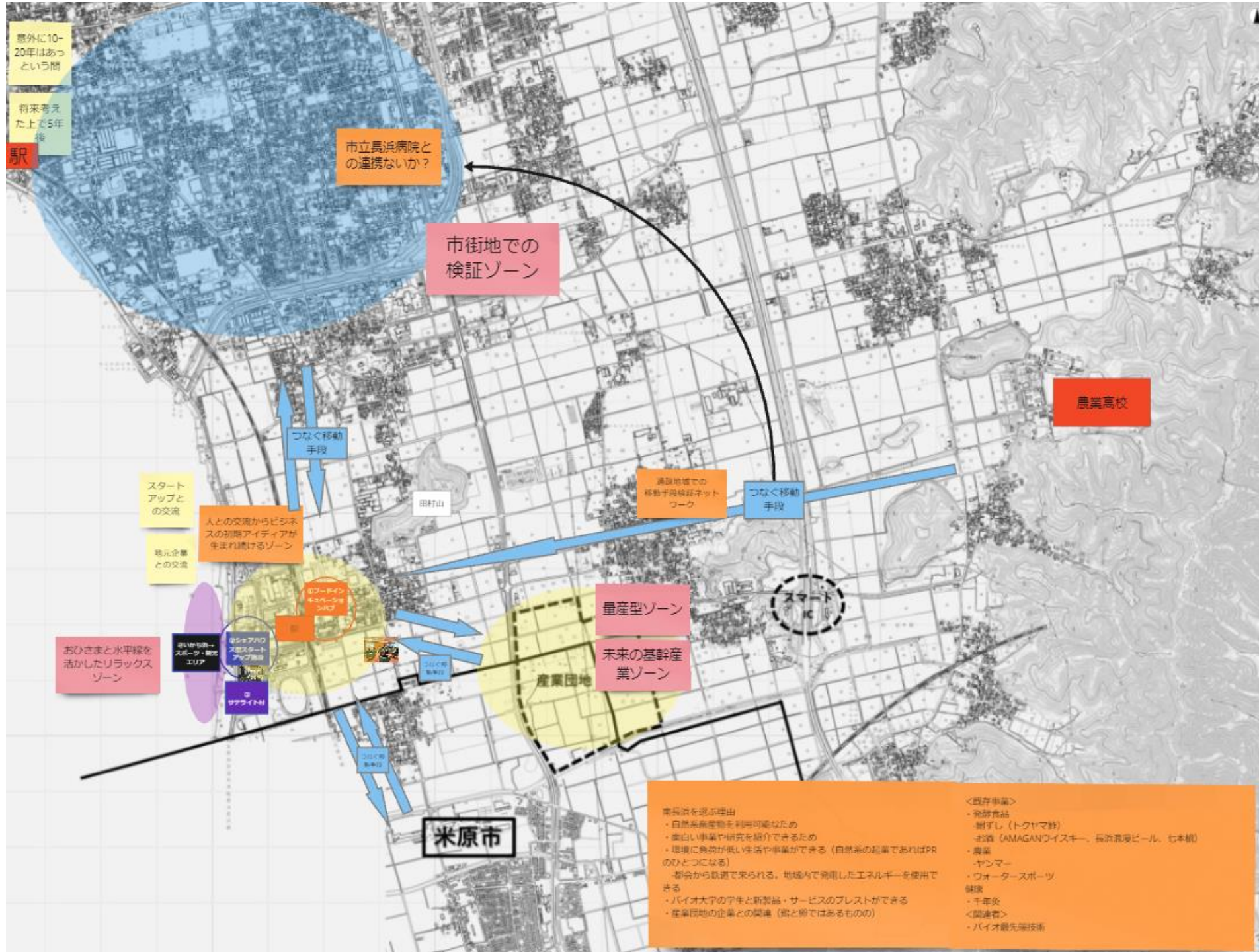


ゾーンニング検討
インキュベーション
部会

インキュベーション 部会



長浜特有の既存事業や
研究の課題を紹介
長浜までの移動費支給



人との交流からビジネスの初期アイデアが生まれ続けるゾーン

ゾーンの説明

- ・ 駅前に立地させるインキュベーション施設を中心に、市外から来た起業家と市内企業（事業）の交流からビジネスの初期アイデアが生まれ続けるゾーン。施設内のミーティングルームやキッチン等の設備、ピッチイベント等、アイデアが生まれるきっかけがゾーン内に多く配置されている。南長浜の都会からのアクセスのしやすさやバイオ大学・産業団地（予定）との近さ、地域の環境負荷の低さが市外に対するアピールポイント。施設を活用する起業家・企業と市民との交流も行われている。
- ・ ゾーン近隣には起業家が滞在する施設（シェアハウス）が立地、長期的に滞在してもらうことも可能で、それがゾーン内の活動に持続性をもたらしている。
- ・ フードインキュベーション施設イメー

(JR東 新大久保
フードラボ) →



ゾーンにおける具体的なアイデア

アイデア フードインキュベーションハブ	概要 地元の食・農業関連事業社とスタートアップとの交流から、事業アイデアを生み出すことを目指したインキュベーション施設。対外的な発信機能もあり、来訪者向けのイベントも開催できる（マルシェスペースなど）。産業団地入居企業への事業提案も可能。	活用資本 市場（土地） バイオ大学、サイエンスパーク、長浜農高、地元食品事業者・農業関係者、関係人口
アイデア シェアハウス型スタートアップ施設	概要 域外からの起業志望者に滞在してもらうシェアハウスを整備する。シェアハウスにすることで起業家同士での交流を生み、駅前のインキュベーション施設の近くに立地させることで、インキュベーションの機会ともアクセスしやすくする。	活用資本 空き家（可能であれば）、旧教習所敷地、上記のインキュベーション施設 関係人口
アイデア 移動手段検証ネットワーク	概要 田村駅前と農業高校、駅前と予定されている産業団地との間など、インキュベーション施設を活用する事業者が立地するエリアと駅前を繋ぐ新しいモビリティネットワーク（自動運転等）事業者のみならず地域の人も利用可能	活用資本 長浜農高 駅前
アイデア サテライト村	概要 都会の既存企業やスタートアップのサテライトオフィスが集まれるエリアにする。	活用資本

おひさまと水平線を活かしたリラックスゾーン

ゾーンの説明

- マリンスポーツを通してびわ湖での遊び方を提案できるゾーンとすることで、県外国外から人を呼び込み、市民のシビックプライドの醸成も狙う。
- ほかにはない景色のリラクゼーション施設(サウナ)による国内外のビジネスパーソン集客。地元民の健康増進を狙う。
- ロケーションを生かしたレストラン整備※レストラン建設が難しい場合はより簡易なもの(ポップアップやBBQ台の設置)
- バリ島ジンバルン→



ゾーンにおける具体的なアイデア

アイデア 健康・スポーツ	概要 - 観光客・地元民向けにマリンスポーツアクティビティが各種楽しめるスポットとして整備する - 大会開催の受け入れ	活用資本 さいかち浜 地元アクティビティ 提供者
アイデア 湖岸の立地を生かしたサウナ	概要 - 観光客・地元民向けに水平線と夕日が見える - サウナ施設を整備する	活用資本 さいかち浜 サウナ施設（新規）
アイデア 湖岸の立地を生かしたカフェレストラン	概要 - 夕日が沈む様子を見ながら浜辺でディナーが - 食べられるレストラン(地元企業やスタートアップのブロットタイプも出す)・朝食営業も可。	活用資本 地元企業 レストラン（新規）
アイデア	概要	活用資本

ゾーニング検討

ライフスタイル部会



関係人口ゾーン

ゾーンの説明

- 駅からのアクセスとびわ湖への距離を活かした観光客や二拠点居住者向けの施設が充実したエリア
- びわ湖の眺望を売りにした田村山カフェや琵琶湖沿いのコワーキングスペースを整備
- 京阪神・中京地域の親子やマリンスポーツやビワイチ顧客向けのスペース

ゾーンにおける具体的なアイデア

アイデア 琵琶湖景観を眺む田村山カフェ	概要 - びわ湖の眺望が素晴らしいカフェ - 食材を田村駅周辺からドローンデリバリー	活用資本 田村山
アイデア 琵琶湖景観を眺むコワーキングスペース	概要 びわ湖沿いのビルをリノベーションし、コワーキングスペースを整備	活用資本 教習所跡地
アイデア アクティブスポーツ	概要 - ジェットスキー - ビワイチの中継（ピットステーション）	活用資本
アイデア 親子向けピクニックエリア	概要 - 地域マルシェ - ピクニック	活用資本

ウォーカブルライフスタイルゾーン

ゾーンの説明

- ・歩いて移動できる範囲に生活に必要な店舗や施設が充実している
- ・生活に必要なものがこのエリアで完結する循環経済エリア
- ・半分自給自足で、このエリアで取れる食材で生活ができる
- ・ゴミはエリア内で回収され完全にサーキュラーな生活が実現されている
- ・高齢者福祉施設も多いことから、子供から高齢者まで楽しく健康的な生活ができる

ゾーンにおける具体的なアイデア

アイデア ライフスタイル ストア	概要 - 地元の食材や加工食品を購入できる街の食料品店 - 地元食材を目当てに観光客も訪れる - 人々が集うカフェも併設 - 量り売りで販売し、ゼロ・ウェイストを推進 - 地域の人が店員であり顧客である	活用資本 農業
アイデア ゼロ・ウェイストシ ステム	概要 - ゴミや使い終わったものを地域で回収する仕組みを整備 - まったくゴミがでない仕組みを実現	活用資本
アイデア 神田山ウェルビーイ ングパーク	概要 - 子供から高齢者まで、自然に触れながら楽しく、健康になれる	活用資本 神田山
アイデア ドローンデリバリー 拠点	概要 - 中山間集落へドローンで食材などを配送	活用資本